



NTT労働組合退職者の会 高知県支部協議会

通信

2007年7月5日 第32号

NTT労働組合退職者の会 高知県支部協議会
会長 今井 智〒780-0841 高知市帯屋町 2-5-11
TEL 088-821-3800 FAX 088-873-3313
URL http://www1.quolia.com/ntt-ob.kouchi

退職者共済加入者は全員が継続組合員に!!

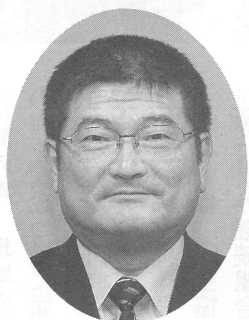
法改正に対応し福祉活動の更なる推進 7月9日送付の「共済書類」は全員提出を!!

国の規制緩和の一方で、業界や外圧の攻勢の中で、生協法（生活物資の取扱いや共済活動等）適用の厳格化（会員外利用の規制）と改正がなされる事となり、退職者の会員が利用している電通共済生協の事業の一層の厳格化（コンプライアンス遵守義務）が求められることへの対応策として、今年七・八月の「会員・共済継続、拡大」を前に、「会員Ⅱ退職者共済加入」に加え、「住宅・家財・自然災害や交通災害共済」「自動車共済（自賠責・マイカー共済）」利用権を維持するために、

入と夫婦や親子加入者で、どちらかにまとめて加入している方は、ご面倒ですがこの際「分割して加入」とされる手続きをお勧めします。今年の「共済書類」は、七月九日（月曜）に郵便で会員の皆さまにお送りし、七月十九日（木曜）締め切りとします。書類提出の事務処理に従来の以上のご協力をお願いします。尚、制度の変更や事務処理の詳細資料は七月九日発送の書類を必ず一読すると同時に「申込書類」を七月十九日までに返送するよう願います。

生活の安心・安定のため安倍政権にノーを!!

NTT労組四国総支部委員長 井原 眞人



ことに、御礼申し上げます。

小泉政権を引き継いだ安倍総理は、自らの在任中に憲法改正を公言し、衆参両院での与党多数を背景に、憲法改正手続き法である「国民投票法」を衆議院で強行採決し、その後の参議院本会議で成立させました。また、年金問題では、社会保険庁の責任を、「このシステムを作ったのは、当

時の厚生労働大臣の菅直人氏だ」と責任をすり替える発言をするなど、やりたい放題、言いたい放題の国会運営や言動に終始し、私たち国民の怒りは頂点に達しているのではないのでしょうか。

この政治を変えるには、政権交代しかありません。目前の第二十一回参議院議員選挙は、政権交代につなげる重要な選挙であり、参

議院での与野党逆転の絶好のチャンスでもあります。

すでに、情報労連・NTT労組は、比例代表の組織内候補「吉川さおり」と合わせ、高知県選挙区の「武内のりお」予定候補を推薦し、取り組みを展開しています。

諸先輩が築きあげた情報通信事業を守り、お互いの生活の安心・安定のため「安倍政権にノー」をこの選挙で突きつけましょう！退職者の皆様の一層のご協力を切にお願いし、あいさつと致します。

第15回

どうナッチュウが?



「国民投票法」「社会保険庁改革関連法案」に続き「年金時効撤廃特別法案」が、また自民・公明両党の強行採決で可決された。

十分な審議もせずに力で押し捲る、いつもの手法である。それなのに、私たちはそれを防ぐ手立てを持たない。それは、あの「郵政民営化関連法案」を看板にした衆議院選挙に敗れたからだ。それも、「郵政民営化法案」だけの選挙ではないとあれだけ言ったのに。情けない。

しかし、まだチャンスが無いわけではない。それは、この七月に予定されている参議院選挙に勝つことだ。二度と「衆議院選挙」の轍は踏むまい。今度こそ、与野党を逆転し政治の流れを変えよう。そのために、「吉川さおり」「武内のりお」を先頭に、不退転の気持ちでもって頑張っていく。

退職者の会
高知県支部協議会

◇常駐日 毎週火・水・木曜日 13時～16時
・7月10日～24日迄は「会員継続」「退職者共済」手続きに対応し、月～金曜日13時～16時の間、幹事が常駐します

◇〒780-0841 高知市帯屋町 2-5-11
TEL 088-821-3800/FAX 088-873-3313
E-mail ntt-ob.kouchi@star.quolia.com

退職者の会員は共済生協の継続組合員へ

参院選勝利で、生活と通信インフラの確保を



参議院選を目前に控えた六月十四日、東京の全電通会館において臨時支部代表者会議が開かれた。会には、内堀退職者の会会

長等の挨拶に引き続き、参議院議員組織内予定候補の「吉川さおり」が急遽登壇、「仲間の声、地域の皆さん」の声を国政の場に届け、国民の暮らしと日本の通信政策を正しく守るため頑張る」と力強い決意を述べられた。議事では、①生協法の改正等により継続組合員に、任意共済利用者全員がなること。(今期の加入促進でも利用が無ければ、以後は利用できなくなる) ②参議院比例区組織内予定候補の「吉川さおり」と各県での予定候補(高知は武内のお)を支援する取り組み。③NTT労組が取組んでいる政治団体「アピール21」への取組みに退職者の会も協力する。などが提案され、それぞれ討議し満場一致で承認された。

(関連記事は「NTT労組新聞三三四号(二〇〇七年六月二十三日)」をご参照ください。)

元気に酒を酌み交わす

各地でOBの集いが開かれる



宿毛 三月二十三日、宿毛市老人憩いの家に、宿毛・大月地区のOBが集い過去一年間の活動を振り返りつつ、折から開花した桜をめでながらOB同士の元氣な懇談会が開かれた。OBのミニ旅行や障害者施設のイベント協力の活動の継続等の今後の取組みの方向についても確認しあった。

OB会発足以来、会員のコミュニケーションの威力となつていく機会「はまゆう」の一〇〇号達成を讀みあひ今後発行継続と、新会員獲得の努力も行っていくこととされている。

中村 四月一日に、「NTT高知西南地区OB会」のお花見交流会が、東町の旧専売公社跡の桜のもとで開かれた。西南OB会はかつての「中村局」OBの集いで、旧「窪川」「清水」「宿毛」と「中村」局のOBらで構成する広域OB会で、「会報」発行等仲間の連帯を重視した交流活動を展開しており、年一回の定期総会に加えての「花見の集い」として開かれた。

高知・旭 三月三十一日、高知市水道局の旭浄水道公園の満開の桜のもとに旭地区をはじめとしたOB仲間が世話役の手配した花見弁当やビールを囲み賑やかに「集い」を開いた。

今年は統一自治体選挙の年と重なっていたが、組織内の「近藤つよし」高知市議も多忙な中をやりくりし参加する等、和氣藹々の「宴」となった。

高知・朝倉 三月三十一日、高知市針木上水道公園に高知西部地域のOBが集い、少人数ながら「花より団子」ならぬアルコールを元気に酌み交わし、一年ぶりの再会を喜びあうと共に、高齢者や国民の暮らしが後退しつつある現状を高齢者パワーで阻止しなければと、飲むほどに快気炎をあげる集いとなった。

安芸 四月十三日、安芸市「安芸市総合社会福祉センター」において、安芸地区OB会が開かれ、室戸OB会との交流模様をはじめとした一年間の活動の総括と今後の活動計画等を協議しあつた。総会をより有意義にしようとの試みとして、高齢者が悪徳リフォームや高額商品販売の被害に遭わないための対応策についてミニ講演会があり、人事ではなく次は「わが身が被害者」かも?と熱心に聞き入っていた。

この「集い」にはもう一つのOB組織「高知電友会」からも代表が参加し、共に懇談を深めあった。

室戸 四月二十六日、室戸市の「はつね」に旧、室戸局を中心としたOBが集い、一年間の活動を振り返るとともに「じゃがいも掘り」等を通じ交

た。総会をより有意義にしようとの試みとして、高齢者が悪徳リフォームや高額商品販売の被害に遭わないための対応策についてミニ講演会があり、人事ではなく次は「わが身が被害者」かも?と熱心に聞き入っていた。

この「集い」にはもう一つのOB組織「高知電友会」からも代表が参加し、共に懇談を深めあった。

須崎 五月十九日、須崎市の「姫路屋」において、須崎地区のOBと現役社員が集い、一年間の活動の成果と今後の取組むべき課題等を協議しあった。事業環境の変化から年々「現役社員」等との交流が少なくなっていることを残念に思うとの会員の声もあり、今後への課題とした。

尚、支部協幹事会からこれら各地の「集い」に四役をはじめ、地域担当幹事がそれぞれ参加した。

古社寺と残雪の黒部アルペンルート

～新緑の峡谷を縫うトロッコ電車の旅を満喫～

今年で2回目となる高知電友会と当会との共同企画による、NTT高知OB親睦旅行は、5月29日～31日の2泊3日で45名の参加者で実施された。

行き先は、長野・善光寺の奥の院に当たる「元善光寺」と勇壮なご神木の切り出しで有名な「諏訪神社」の歴史と伝統ある古社寺をめぐり、ようやく春本番の安曇野野原を縦断。

中部山岳国立公園の「ど真ん中」で、日本近代化の源として多くの犠牲を伴う難工事の末、戦前から電力を供給してきた黒部開発の象徴としての「黒四ダム」を目指す「立山・黒部アルペンルート」を大町・扇沢から、トローリーバスやケーブルカーを乗り継ぎ、巨大な黒四ダム堰堤を徒歩で渡り、未だ深い残雪を頂く北アルプス連山麓を眺望しつつ、期待の中にも暖冬だった今年の冬から、半ばあきらめていた「室堂の雪の大回廊」では13mをこえる「残雪」と幻の野鳥「雷鳥」が奇しくも遥々南国から訪問した私たちを出迎えてくれるなど、一同大感激!!

又、最終日は、宇奈月～樺平間の日本一の大峡谷を早朝よりトロッコ電車で往復。黒部川開発に身を呈して挑んだ外国労働者達を含む先達の苦勞をしのびつつ、新緑の立ち込める日本一切り立ち深い「峡谷美」を堪能したあと、北陸路から遠く離れた関西国際空港に途中休憩なしの超特急で移動。「関空」では離陸15分前に滑り込みで、トイレも「我慢ガマン」の有様ながら無事、高知龍馬空港に到着。

帰路のバス車内での参加者アンケートでは、「満足度」の高い回答に加え、恒例のホテルでの仲間同士の「夜の宴会」が大いに愉しみで旧交を温めるのに有意義との評価を受けた親睦旅行だった。



退職者共済支払い状況

(二〇〇七年三月～五月末日まで支払分)

お祝い	お悔み	脱会
☆喜寿(八件)	☆本人死亡(三件)	
田内 央江 様	小川 正澄 様	岡田 紀子 様
佐竹 弘吉 様		
浜田 満 様		
山野上 亮 様		
岡村 剛 様		
山口須磨子 様		
☆金婚(四件)		
竹中 節子 様		
森 明博 様		
杉村 次郎 様		
野村 滋 様		
岡林 利枝 様		
☆配偶者死亡		
久岡 広文 様		
山中 秋男 様		
久岡 薫 様		
西山 建二 様		
岡田 紀子 様		



須崎OB会の様子

尚、支部協幹事会からこれら各地の「集い」に四役をはじめ、地域担当幹事がそれぞれ参加した。